



一般社団法人 日本ユング派分析家協会 (AJAJ) 主催
第 12 回 日本ユング心理学研究所 研修会 (2024 年度) のご案内

日時 2025 年 3 月 2 日 (日) 12:00~16:45 (受付 11:30~)
会場 連合会館 (東京都千代田区神田駿河台 3-2-11) / Zoom

— ご挨拶 —

12 回目を迎える AJAJ の研修会を今年度は東京にて開催させていただきます。今回も引き続きハイブリッドでの開催となりますので、現地会場だけでなく、オンライン (Zoom) での参加も歓迎いたします。

今回の全体講演は、大場登先生に『臨床場面で「夢」と向き合う—Giegerich 氏の夢へのアプローチと対話しつつも—』という演題でお話いただけることになりました。大場先生は日本でユング派分析家として開業された草分けで、その長い臨床経験においてずっとクライアントの夢に寄り添ってこられたことを思うと、こうしたテーマのお話を伺えることはまたとない貴重な機会かと思えます。長年にわたって培われてきた夢との向き合い方を、今回は新しい潮流ともいえる Giegerich にも批判的に触れながら深めていかれるとのことですので、多くのことを学ばせていただけるに違いありません。是非この機会を逃すことなく、多くの方がお集まりになるようにと願っております。

2025 年 1 月吉日

一般社団法人日本ユング派分析家協会 (AJAJ)
会長 豊田園子

<開催要領>

1. 開催形式 (ハイブリッド形式)

- 会場にご来場いただくオンサイト参加と、Zoom 視聴いただくオンライン参加を選択可能なハイブリッド形式での開催となります。
- 講師および事例発表者は原則オンサイト (会場) です。

2. 定員

会場 150 名 (定員に達し次第、受付締切) / オンライン 無制限

3. 参加資格

心理臨床の事例に関して守秘義務を負いうる、以下の条件のいずれかを満たす方

- ① 日本ユング心理学研究所の登録会員・聴講生・候補生
- ② 心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③ 臨床心理学を専攻する大学院生

4. 参加費

①一般 6,600円 ②登録会員 5,500円 ③聴講生・候補生 4,400円

※②③は、それぞれ日本ユング心理学研究所の登録会員・聴講生・候補生、それ以外は①一般となります（消費税込）。

5. 研修内容

(1) 全体講演

時間 12:00~13:30 (受付 11:30~)

会場 連合会館 2階 204 会議室

『臨床場面で「夢」と向き合う—Giegerich 氏の夢へのアプローチと対話しつつも—』

講師 大場 登 (PraxisOHBA/放送大学名誉教授)

Giegerich, W. 氏の『夢と共に作業する』【猪股 剛 (監訳) 宮澤淳滋・鹿野友章 (訳), 日本評論社, 2023 年】は、とても興味深いものでした。但し、同書では「たましい」の語りとしての夢をセラピストがどのように解釈するのにもっぱらの焦点があてられています。夢セミナーのような「実験室条件下」での作業という言葉も使われています。これに対して、今回のテーマは、「臨床場面で『夢』と向き合う」です。私自身は、夢を伴う心理療法の難しさ、そして、面白さは、如何にして「(「たましい」の語りとしての) 夢」に、夢見手と共に向き合うことができるかどうかであると理解しています。当然、Giegerich 氏とは異なる夢へのアプローチとなります。「日本人の心理療法で夢と向き合う」という文脈についても触れてみたいと思っています。

(2) 分科会・基礎コース

時間 13:45~16:45

以下の 7 グループ (分科会 4・基礎コース 3) に分かれて行きます。

【第 1 分科会】足立 正道 (足立分析プラクシス)

『投影法検査とユング心理学—言語連想とロールシャッハ・テストの解釈の実際』

夢へのアプローチが心理学者ごとに大きく異なるように、投影法の検査結果へのアプローチにも当然それぞれの心理学の個性が強く現れる。実際、ユングの場合は、夢、アクティブ・イマジネーション、そして言語連想の三つを無意識への王道として並記しており、そこには投影法の一つとしての言語連想に対する特別な思いがうかがえる。今回は言語連想とその影響を受けたロールシャッハ・テストについて、実際の臨床素材の理解を試みる中でユング心理学の固有の視点を検討したい。(事例提供者：富士縄達郎氏、野村龍太氏)

【第 2 分科会】江崎 隆志 (東京都立大塚病院)

『小児の心理療法の実際』

小児の心理療法では様々な試みがされている。児自身の要因なのか？環境要因なのか？治療構造は、児を中心とした箱庭、母子並行面接あるいは母親面接などを、ケースを理解しながら臨機応変にやっていく必要もあるだろう。また特に日本では、家族の問題も切り離せない。私は小児科医として診察室で会いますが、皆さんは SC として会う人も多いと思います。小児の心理療法全般について皆さんと考えたい(2023 夏 AJAJ で行った同タイトル内容と一部重複。復習したい方もどうぞ)。

【第3分科会】河合 俊雄（京都こころ研究所）

『思春期の身体症状とイメージ』

「思春期スパート」と言われるように、思春期には急激に体が成長することもあって、様々な身体の不調が生じてくることも多く、不登校に至ってカウンセリングにリファーされてくる場合もある。言語化もむずかしいためにイメージによるアプローチが有効であるが、逆に身体症状のある思春期のクライアント特有のむずかしさがある。事例に即してそれを検討したい。（事例提供者：村上弘子氏）

【第4分科会】田中 康裕（京都大学）

『夢の内在的リアリティーとその治療的意味』

ユング派心理療法において、クライアントから報告される夢はそれ自体に、日常生活とはまったく異なるリアリティーを内在している。そのようなリアリティーにいかに参加するか、それに触られるか、そしてそこに留まれるかに、心理療法の展開の鍵は存在すると言えるだろう。この分科会では、長谷川病院の公文佳枝氏に事例提供をお願いし、このテーマについて考えてみたい。（事例提供者：公文佳枝氏）

【基礎コース1】田熊 友紀子（代官山心理・分析オフィス）

『夢分析の基礎を学ぶ～河合隼雄『ユング心理学入門』を踏まえて』

「夢、およびその分析は、ユング派の分析においてその中核をなしている重要なものである」。しかしクライアントの語る夢の理解の困難さや扱い方の戸惑いなどしばしば経験することである。本コースは、河合隼雄『ユング心理学入門』（培風館 or 岩波現代文庫）をテキストとして、特に夢分析について実際に学ぶ。夢に興味のある初心者にとっても、また自身の臨床を見直したい臨床家にとっても本書からは常に新たな発見があると思われる。後半は参加者から臨床事例の夢（1～2つ程度）を発表してもらい、ともに詳細に検討したい。発表者を募集します。

文献：河合隼雄『ユング心理学入門』培風館 or 岩波現代文庫

【基礎コース2】前川 美行（東洋英和女学院大学）

『娘（少女）について』

最近の母娘関係を、双生児のようなと喩えられることも多い。大学生の中にも思春期に母親に反抗を経験していないというものもある。しかしながら、娘側には「双生児のような」という喩えには抵抗感を持っていることも考えられる。河合（2019）は「クローディアの秘密」を取り上げて少女の家出と秘密について語っている。ユング『元型論』「5 母娘元型 デメテル＝コレエ神話」と現代の物語（アニメなど）を比較して、分析心理学的に現代の娘（少女）について検討したい。

文献：ユング『元型論』紀伊國屋書店

【基礎コース3】吉川 眞理（学習院大学）

『分析心理学の出立と「変容の象徴」－主体発生の分岐に立つ－』

「変容の象徴」の執筆と刊行は、ユングにとってフロイトと訣別して独自の分析心理学の出発する契機となった。本コースでは、本書における元型論の萌芽をたどり、19世紀末から20世紀初頭を生きた一人の女性の心をゆさぶった母親元型と英雄元型のドラマを浮かび上がらせ、アメリカ人女性フランク・ミラーの事例を現代のジェンダー論的視点より討論することを試みる。また、そこに投映されたユング自身の心理的危機についても取り上げたい。

文献：C・G・ユング『変容の象徴』（上・下）ちくま学芸文庫

6. 参加申込

当協会 HP(<http://www.ajaj.info/kenshukai.html>)、もしくは右記 QR コードの申込フォーム(<https://forms.gle/nJ3Uq99FqM9DrWvd7>)よりお申し込みください。お申込が完了しましたら、フォームにご入力頂いたメールアドレス宛に自動返信メールが送信されます（Google Form より「AJAJ 第 12 回研修会お申込みフォーム」というタイトルで届きます）。以上でお申込完了となります。自動返信メールが届かない場合は AJAJ 研修会事務局 (kenshu@ajaj.info) までお問い合わせください。**原則、申込後のキャンセルは受け付けません。**



申込締切日：2025年1月26日（日）

※これ以降、フォームからお申し込みはできません。

7. 事例提供ご希望の方（基礎コース1のみ）

お申込の際、「事例概要」欄に「事例提供希望・事例概要（100 字程度）」をお書き添えください。発表可否につきましては、申込締切後、事務局よりご連絡いたします。発表者は原則オンサイトでの参加となります。

8. 参加費振込

フォームよりお申込完了後、**2025年2月11日（火祝）までに**参加費を下記口座へお振り込みください。**事務局から請求に関するご案内はございませんのでご注意ください。**

＜振込先＞ 三井住友銀行 京都支店 普通 7908843
一般社団法人 日本ユング派分析家協会

※お振込みは必ず本人名義でお願いします（異なる場合は事前にご連絡ください）。

※参加費はご返金できませんのでご了承ください。

9. 研修ポイント

全体講演と分科会（基礎コース含む）の両方に参加された場合のみ、日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士教育・研修規定別項第2条(4)により、一般参加2ポイント、事例発表者4ポイントの取得となります。

10. 研修証明書

ご希望の方は、メール(kenshu@ajaj.info)にてご依頼ください。

ただし、全体講演と分科会（基礎コース含む）の両方に8割出席された方が対象です。

11. Zoom 情報

各分科会・基礎コースの会場および Zoom 情報につきましては、開催日3日前までにメールにてお知らせいたします。

12. アクセス

連合会館

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL : 03-3253-1771 (代)

●地下鉄

東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」 B3出口 (徒歩0分)

東京メトロ丸ノ内線「淡路町駅」 B3出口 ※ (B3出口まで徒歩5分)

都営地下鉄新宿線「小川町駅」 B3出口 ※ (B3出口まで徒歩3分)

丸ノ内線/新宿線をご利用の方は地下道を通り、千代田線方面へ

※B3a・B3b出口は、違う方向へ出ますのでご注意ください。

●JR

JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」 聖橋口 (徒歩5分)



- 1 ザ・ピー お茶の水 2 お茶の水ホテルジュラク 3 ホテルマイステイズ御茶ノ水
P パーキングメーター P 有料駐車場

<研修会に関するお問合せ先>

一般社団法人 日本ユング派分析家協会 AJAJ 研修会事務局

〒604-8126 京都市中京区高倉通蛸薬師下る貝屋町 558 澤田ビル 2階 201号

E-mail : kenshu@ajaj.info (研修会専用アドレス)